

「年金とスライドについて」(報告者、竹内邦夫)では、世界各国の年金額の調整方式(大別して、特別立法方式、法律に原則を明示する方式、自動調整方式)の紹介があり、それぞれの方式についてのメリット、デメリットが論じられた。また、自動調整方式を採用する場合に検討を要する事項として、新規裁定と既裁定との関係、指標のとり方、財政方式のあり方、などが取上げられた。

「長期計画の問題点」(報告者、山本純男)においては、

経済企画庁内での新しい経済計画策定の準備作業——特に社会保障問題懇談会(座長、小山進次郎)での議論——についての経過報告があった。

その他、医療保険各法の改正に関する動きについては「両審議会の答申について」(報告者、小山路男)において取上げられ、また、「老人福祉の現状と問題点」(報告者、森 幹郎)では、各国の現状と比較しながら、わが国の老人福祉の進むべき方向が明らかにされた。

社会保障研究所日誌 (1972. 4~1972. 6)

昭和 47. 4. 13 第 5 研究会 (第 1 回) 報告内容

「社会保障財政の国際比較——昭和 47 年度研究プロジェクト——」報告者：慶応義塾大学助教授 藤沢益夫

4. 18 第 2 研究会 (第 1 回) 報告内容「社会保障水準の指標——北欧諸国資料を例として——」報告者：研究第一部長 小沼 正

4. 25 第 6 研究会 (第 1 回) 報告内容「両審議会の答申をめぐって」報告者：専門委員 小山路男

4. 25 ISSA 文献委員会 47. 1~3 月文献選考について

5. 4 定例役員会開催 (第 78 回)

5. 9 第 4 研究会 (第 1 回) 報告内容「Rohrlich, "Toward a Convergence of Economic and Social Policies" について」報告者：研究員 城戸喜子

5. 14 三浦文夫研究第三部長 欧州 1 ヶ月間の視察旅行を終え帰国。

5. 16 第 5 研究会 (第 2 回) 報告内容「ナショナル・ミニマムの理論と政策」報告者：慶応義塾大学助教授 藤沢益夫

5. 18 第 1 研究会 (第 1 回) 報告内容「年金制度の経済分析序説」報告者：研究第二部長 地主重美
同 第 3 研究会 (第 1 回) 報告内容「多問題家族の調査について——中間報告——」報告者：研究員 渡辺益男、同、高橋紘士

5. 23 第 6 研究会 (第 2 回) 報告内容「長期計画の問題点」報告者：経済企画庁計画官 山本純男

5. 23 海外社会保障情報編集委員会

5. 25 定例役員会開催 (第 79 回)

5. 27~28 陸月会旅行 (長野県高峰高原)

6. 1 第 1 研究会 (第 2 回) 報告内容「経済計画と移転関数」報告者：経済企画庁経済研究所主任研究官 市川 洋

6. 8 第 3 研究会 (第 2 回) 報告内容「社会福祉の国際比較研究のすすめ方」報告者：研究第三部長 三浦文夫

6. 12 第 7 回公開研究座談会 (協和銀行赤坂支店会議室) テーマ「年金の自動調整」レポート：主任研究員 平石長久、コメント：早稲田大学教授 安藤哲吉、日本団体生命(株)営業部長 村上 清、司会：所長 山田雄三

6. 13 第 2 研究会 (第 2 回) 報告内容「高齢者の食数と食費等について——掛川高齢者生活実態調査——」報告者：研究会 曾原利満

6. 15 第 4 研究会 (第 2 回) 報告内容「1. ティトマス著『社会福祉と社会保障』論読のすすめ方について、2. 普遍性と選別性の原理について (第三部 I, II 章を中心に)」報告者：研究第三部長 三浦文夫、研究員 渡辺益男

6. 20 第 5 研究会 (第 3 回) 報告内容「イギリスの医療保障と公衆衛生」報告者：専門委員 橋本正己

6. 22 定例役員会開催 (第 80 回)

6. 27 第 6 研究会 (第 3 回) 報告内容「老人福祉の現状と問題点」報告者：厚生省老人福祉課 森 幹郎

6. 29 第 1 研究会 (第 3 回) 報告内容「年金制度の考え方」報告者：専門委員 高橋 武